

広報

ふじ

57.10.25

No.352

ジプシーが踊り 歌う

世界にたった一つしかないといわれている
ジプシーの劇場、国立モスクワロメン劇場が
10月10日、富士文化センターの主催で上演さ
れました。哀愁のメロディーと情熱的な踊り
に、観客から盛んな拍手が送られました。





市は、11月1日市内青島の富士市農協会館大ホールで、昭和57年度市長表彰式を行います。

今回、表彰を受けられるのは、特に市の産業・地方自治・教育文化に貢献し、著しい功績のあった3人です。

毎年、新市誕生の日を記念して、市長から表彰状と記念品が贈られます。

市勢発展の功労者

今年は二人が受賞

市長表彰

産業功労



斎藤了英さん
(比奈967 66歳)

永年にわたり大昭和製紙株式会社代表取締役社長として、また、日本の紙業界の指導者としてもその大きな視野から、国内外の産業開発の発展に尽力されました。

その間、富士商工会議所会頭、静岡県紙業協会会長等の要職も務め、特に、地場産業である紙・パルプ工業をはじめ、郷土産業経済の興隆伸展に多大な貢献をされました。

また、先代社長の遺志を引き継ぎ、財団法人知恩会を設立、科学技術の振興と優秀な人材育成など、広く社会福祉の増進にもつくされました。

地方自治功労



百津孫一さん
(松岡2444 60歳)

昭和37年12月富士市議会議員に当選以来、在職通算16年有余にわたり、地方政治に参画されました。この間、富士市議会総務企画委員長、同建設水道委員長等の要職を歴任し、地方自治の確立と住民福祉の向上に尽力され、市勢発展に多大な貢献をされました。

さらに、社団法人高齢者事業団、富士市シルバー人材センター常務理事に就任し、高齢者の生き甲斐対策に積極的に取り組み、福祉の増進につくされています。

教育文化功労



伊藤周三さん
(松岡893-1 74歳)

昭和2年小学校訓導として奉職以来、44年有余にわたり教育活動の実践者として専念されました。この間、市内の各小学校をはじめ富士市教育委員を務め、特に戦後における民主教育の基礎づくりと新しい教育制度の発展及び教職員の資質向上などに多大な貢献をされました。

また、その豊富な経験を生かし、保護司として14年有余に及び刑余者の保護観察と自立更生につくされています。

市議会

正・副議長決まる

議長は加藤昌一さん

9月定例会市議会で、議長・副議長の改選が行われ、議長に加藤昌一さん、副議長に芦沢彦正さんが選ばれました。

議長・副議長に抱負などをインタビューしてみました。



議長
加藤昌一さん



副議長
芦沢彦正さん

「市政の主人公は市民であるから、まず、市民の幸せを最優先に考えなければいけない。」また、「議会の持つ議決権と市当局の持つ執行権をふりまわしたら、市政はうまくいかない。

お互いによく話し合って市政をすすめていかなければ……」と、議長としての抱負を語ってくれました。

議員になった動機は、自分の考えていることを公の場で発言し、それを市政に反映させることができた…とのことでした。

趣味は、盆栽と読書。読書は毎日欠かさず、必ず1日1時間位は本を読むそうです。住所は、神谷533の2。

現在、奥さんと長男の3人家族。
64歳 市議5期

「議長を補佐しながら、住民のためのまちづくりをも、議長に提言していきたい。」また、「議会の機能として住民との接点的役割があるので、住民が手の届く議会であるよう心がきたい。」と、抱負を話してくれました。議員になった動機は、支援者や地域からの要請を受けたのが大きなきっかけに。また、議員として政治の場へ入ってからは、自分の生活感覚からくるものを市政に反映していくことが大切——と痛感したそうです。

趣味は、囲碁・将棋・盆栽・音楽と多種多彩。

住所は、鈴川628の143。奥さんと長男夫婦それぞれにお孫さん1人の5人家族。 63歳 市議4期

みどりくすびのまちづくり
さわやかですみよいまちづくり
ごみのないきれいなまちづくり

富士市をきれいにする市民運動推進連絡協議会

エジソンに挑戦

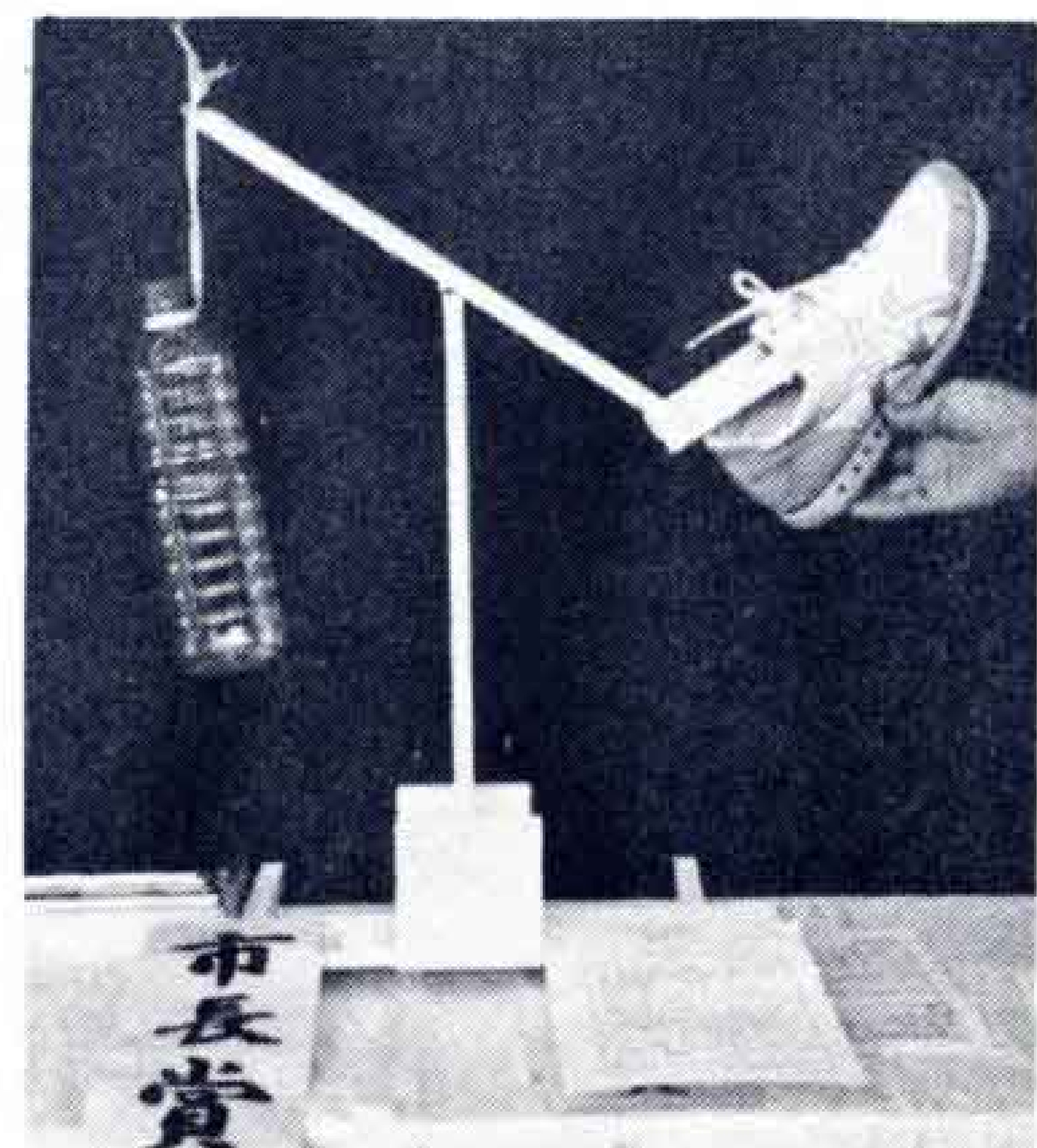
「発明くふう展」

市長賞は中島千穂ちゃん(丘小3)

日ごろの生活の中にアイデアを生かした、第17回富士市発明くふう展が、10月2日から4日まで吉原市民会館で開かれました。

今年の出展状況は、一般の部16点、学生の部449点で、学生の部は出品数が例年より100点以上も上回っていました。

今年市長賞は、市立丘小学校3年生の中島千穂ちゃんが発案した「くつつかわかし器」。これさえあれば、濡れたくつもたちどころに乾きあがる——といったものです。審査員も「発想が実にすばらしく、大人ではなかなか考えつかないアイデアだ」と高い評価をしていました。



中島千穂ちゃんの発案した「くつつかわかし器」



富士金属工業団地

工場を拡張したいが、周辺が住宅のためできない。騒音や振動などの苦情が多く出ている。——こんな事業所の悩みを解消し、工業振興をさらに図ろうと、市は小規模事業所集団化事業を進めています。

小規模事業所を団地化

住宅と工場を分離

移転希望事業所は工業課へ

移転理由は「作業所が狭い」など

この事業は、公害問題などで悩んでいる小規模事業所を1カ所に集め団地化することによって、工場の整備と経営の安定化を図ろう——というものです。対象は、概ね従業員20人以下の事業所ですが、それ以外の事業所でも立地状況によっては参加できます。現在、住宅密集地や市街地にある事業所の多くが、振動や騒音などの公害の苦情、あるいは、密集地のため作業所の拡張ができないなどの悩みを抱えています。

市が昨年行ったアンケート調査では、集団化して移転したい事業所が全体の半数以上もあることがわかり

ました。移転希望の主な理由としては、「作業所が狭い」「用途指定のため増設が不可能」「借地・借家のため」などがあげられていました。

また、市民から苦情を受けたことのある事業所は、全体の約30%。

苦情の最も多いのは「騒音」、次に「振動」「ばい煙」の順でした。

このような悩みを抱えている小規模事業所にとって、1事業所だけでこれらの問題を解決するということは、大変むずかしいことです。

そこで、移転希望のある事業所が集まって協同組合をつくり、集団移転し、住宅地と離れた新しい場所へ工場団地を造ろうというのが、この小規模事業所集団化事業の大きなねらいです。



緑樹の果す役割は

(こえ) 市内の広い通りには街路樹が植えられ、公園にも緑が増えてきました。緑のある街は、市民にとって魅力ある街です。

そこで緑樹の果す役割をPRすると同時に、これからも緑をもっと増やしてください。(一市民)

(こたえ) 緑樹の果す役割はいろいろありますので、今回と次回の二回にわけでお知らせします。

今回は地震時などに予想される火災に對しての効果を説明します。

普通の木材は、面積一平方メートル当たり一時間に四千キロカロリーの熱(真夏の太陽で千キロカロリーぐらい)を受けると着火しますが、生の立木は一万キロカロリーを超えてもなかなか着火しません。

建設省建築研究所では、樹木二十種について耐火力の実験をし、ランクづけをしています。

その結果、モッコクやサンゴジュが最も火に強く一級、サザンカの生け垣はそれにつぐ二級、イチヨウの並木などは三級と分類されています。

このように緑は、無言で都市生活を守り続けています。(市みどりの課)

集団化によって共同事業も

市内には現在、浮島工業団地と五貫島の富士金属団地、駿河金属団地の3つがあります。

団地の特徴は、なんといっても住宅地域から工場が分離されることにあります。それによって、騒音や振動など、周囲に気を使わず仕事ができること。また、工場が集団化することによって、共同化による豊富な品ぞろえができることや共同購入、共同販売の実施が可能になります。

この他に、労働者の労働環境も改善されるため、生産力の向上にも結びつきます。

建設資金については、国の公害防止事業団の融資制度のほか、県の中小企業集団化の高度化資金など、長期で低利な融資が受けられます。

まず組合を設立

この事業を実現させるためには、まず、移転希望事業主によって、協同組合をつくる必要があります。

市は、組合設立のため移転希望事業主40社余の代表で構成した準備委員会を今年の3月に発足させました。現在、準備委員会では、先進工業団地の視察や組合設立のための諸準備をすすめています。

団地の建設は、おおよそ昭和60年度を目標にしています。しかし、この事業を進めていくには、今後、用

富士金属工業団地

工場建設まで組合独自で



富塚喜作さん(74歳)
(富塚製作所)

今から十二年前の昭和四十五年にここへ来ました。ここへ来て本当に良かったと思っています。ここは、鉄工関係の会社ばかり二十社ありますが、開設当初から一社もやめたところがないんですよ。ここへ来る前は、ほとんどが零細企業ばかりだったのでは……。

この団地を造るときに協同組合をつくり、組合独自で土地取得から工場の建設までやりました。建設にあたっては、資金を低利で長期に借りられたということが大変たすかりました。現在では、営業成績も順調に伸びています。

浮島工業団地

高まった従業員の定着率



杉山 清さん(52歳)
(杉山鑄造株式会社)

ここへ来たのが昭和五十一年の春。工場を移転したいと思っていたとき、ちょうど浮島に工業団地ができるということを聞き、移転に踏み切りました。工場を移転する場合、個々で土地を探すということは大変なことなんです。集団で行うというのが一番いい方法だと思います。ここは住宅地と離れているので騒音や振動の心配もまったくありません。工場環境もいいため、生産もあがり、従業員の定着率もよくなりました。それから、下水道や電力等、組合で行っているため安くになります。

地選定や組合へ加入するという事業主の意志決定の問題が残されています。これらの問題を解決することが、団地建設実現へ向けて、大きく前進

することになります。

この小規模事業所集団化事業に参加を希望する事業主は、市工業課へお申込みください。 内線405

グループ訪問 58

富士民話の会

プロフィール

昭和56年4月設立。会員20人。地域の民話を紙芝居にしている。「富士山の話」「かりがね堤」など三作。婦人の地域活動参加促進事業として県の指定を受けている。会員募集中。連絡先☎61-8235(柴田宅)



大きな紙芝居を演じる
富士民話の会の主婦会員

たて八十珍、よこ一匹の大きな紙芝居。発端は子供に出された社会科の宿題。郷土の昔話を、親も知らなくてはと、母親がグループで勉強をはじめたことから。毎月第一・三金曜の午前中、富士公民館や西図書館が絵筆をふるったり、和気あいあいとした話しあいの場所となる。出来上った作品は子供会や幼稚園で公演するほか、貸出しも行っている。

これからは、普通の大きさの紙芝居にもとりくんで、数多く知った郷土の昔話を伝えていきたい、とほりきっている。



◁一服ふかして、どれにしようか思案中



△ママー、ボクこれがほしいヨ

盆栽・草花が3万余点

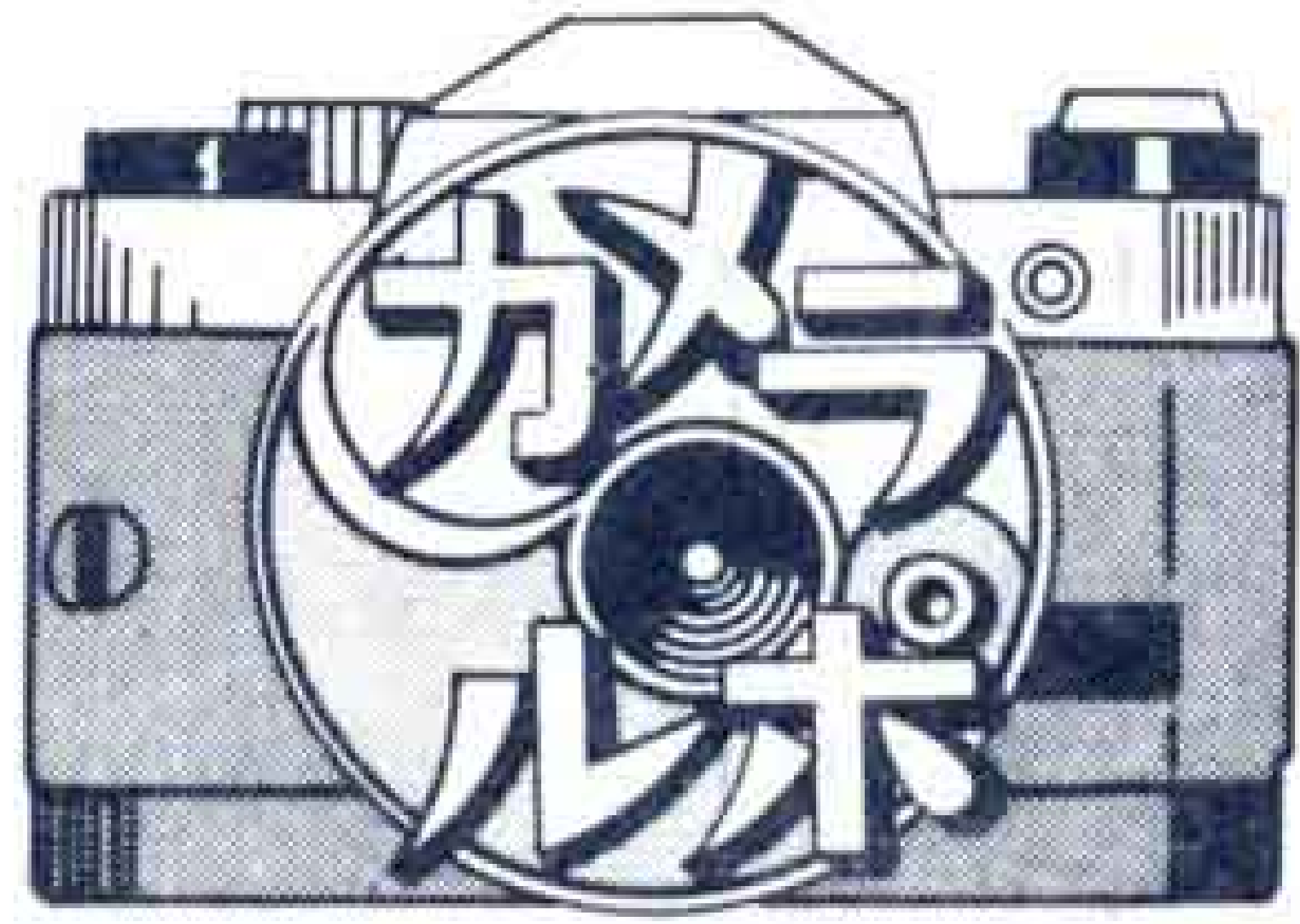
第22回 富士市 緑と花の百科展

緑は、私たちに潤いと安らぎを与えてくれます。そんな緑と花を求めて、秋晴れの10月10日、市役所北側駐車場は、多くの市民で賑わいました。またこの日、第17回花壇コンクール表彰式もあわせて行われました。

この百科展は、緑化推進を目ざし、昭和47年から春と秋の毎年2回開催されています。



△花壇コンクール最高賞受賞の田子浦小児童代表



体育施設を無料で開放

市は、体育の日を記念して、10月10日、市民の健康と体力の維持増進をはかるため、市の体育施設を無料で開放しました。

この日、勤労者体育センターでは、バレーボール、バドミントン等に多くの市民が、汗を流しました。また、市スポーツ祭開会式・体育功労者表彰式が、9日夜文化センターで行われました。



△ナイス、ドライブサーブ決まる



△祝辞をのべる渡辺市長



△スポーツ祭開会式



△いったわよ、お願い受けてェ…



△あら、フェンシングもお上手ネ



市役所 ☎51-0123

火災防止にご協力を 野積み茅・空地の枯草

市消防署と消防団では、野積み茅・空地の枯草で火災の発生する恐れがあり、火災になったとき延焼拡大が予測される場合、これを防止するため58年2月28日まで巡回指導を行います。

年金相談所を開設

市保険年金課と富士社会保険事務所は、年金相談所を開きます。

年金についての、相談をお受けします。おつとめなどの関係で、ふだん相談に来られない人も、この機会を利用してお気軽にお出かけください。

◇とき 11月6日(土)～7日(日)
(10:00～18:00)

◇ところ 富士駅前パピー1階

青少年の健全育成を願い PTAが地域で活動

市内の幼稚園、小学校、中学校、高等学校のPTAは、次代を担う青少年が心身ともに健全で、人間性豊かに育つことを願い11月14日(日)を中心に各小学校区ごとに地域実践活動を行います。

摘むよりも生やさぬ努力非行の芽

農用地利用計画 変更調書を受付

農業振興地域整備事業計画に基づき、農用地区域内の農用地利用計画変更調書の受付をします。該当する人は忘れずに手続き(申請用紙は農政課にあります)をしてください。

◇該当するもの

農家の住宅や分家住宅など調整区域開発許可基準に適合していて、農用地区域の変更がやむをえないもの。

◇受付期間 11月16日(火)～30日(火)

◇提出先 市農政課 内線403へ

覚せい剤乱用防止街頭 キャンペーン

最近、覚せい剤乱用者による凶悪事件が発生する一方、覚せい剤乱用が一般市民へ浸透し、また、低年齢化しているため社会へ与える影響は計り知れないものがあります。

そこで市は、関係団体と覚せい剤乱用者の発生を未然に防ぐとともに、覚せい剤に対する意識の高揚を図るため街頭キャンペーンを行います。

◇とき 11月12日(金) 14:00～

◇集合場所 市役所市民広場14:00

◇コース 市役所→吉原本町→南町公園

市民生活と森林林業講演会

市林政課は、水の大切さ、森林と

市民生活とのかかわりを知っていたらこうと、市民生活と森林林業についての講演会を開きます。

◇とき 11月15日(月)13:00～15:00

◇ところ 富士文化センター

◇テーマ「市民生活と森林林業」

(1)水の大切さ

(2)森林文化と緑化運動

(3)木材について

◇講師 東京大学教授 筒井迪夫^{みちお}

自然巡視員を委嘱

富士市自然巡視員は、自然環境の保全と緑の育成に関する条例に基づき、自然環境の保全に関心を持ち、指導力と行動力に富む市民の中から市長が委嘱します。任期は2年間で現在、次の10名が自然保護行政に貢献しています。

(敬称略)

小川武好(桧新田) 石川芳彦(大淵)
佐藤清太郎(桑崎) 田村栄(神谷)
勝又忠一(大淵) 遠藤金作(大淵)
望月一郎(大淵) 土屋利治(中丸)
平井富雄(桑崎) 鈴木賢次(岩本)

個人事業税第2期納期

11月16日～30日

富士財務事務所 ☎63-3111

65歳以上の人は健康診査を



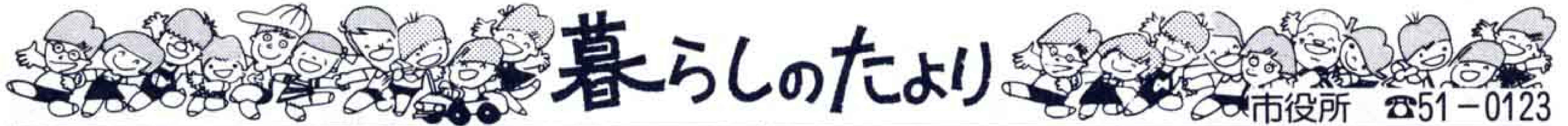
市は、65歳以上の人を対象に「老人健康診査」を行います。対象者には通知書を送付しますので、期間内に市内の病院又は医院で受診してください。

◇該当する人 大正6年10月1日以前に生まれ、現在市内に住んでいる人。

◇実施期間 一般、精密診査共に11月10日(水)～30日(火)

◇料金 無料(健康診査の項目のみ)

◇問合せ先 市社会課 内線229



市役所 ☎51-0123

高額療養費自己負担限度額

4万5,000円に引き上げ

国民健康保険、高額療養費の自己負担限度額が、9月診療分から引き上げられました。

今まで、一人、一ヵ月一つの病院(診療所)に3万9,000円以上を支払った場合、3万9,000円を超えた分は全額払いもどされることになっていましたが、9月診療分からは、この自己負担分の限度額が4万5,000円に引き上げられました。低所得者(住民税非課税世帯)については、3万9,000円にすえ置かれます。なお、58年1月からは、この限度額が5万1,000円に引きあげられます。

11月の歩く会は修善寺もみじ林へ

- ◇とき 11月21日(日) 雨天の場合は28日(日)
- ◇集合場所 富士駅改札口前9:00 だれでも参加できます
- ◇コース 富士駅(9:09)→大仁駅^(徒歩)→もみじ林^(徒歩)→修善寺駅→富士駅
- ◇もちもの 弁当、水筒、タオル、雨具等
- ◇問合せ先 市スポーツ振興課 内線457

住宅金融公庫が増改築に融資

住宅金融公庫は、増改築・模様替えについても低利の住宅改良融資を行っています。

一般の増改築のほかに、門・塀等の屋外附帯設備工事や浴室・浄化槽等の改良工事も対象となります。

また、厚生年金、国民年金等に加入している人は年金被保険者融資、財形貯蓄を行っている人は財形持家融資も受けることができます。

※詳しくは、最寄りの公庫業務取り扱い金融機関または県都市住宅部住宅企画課 ☎ <0542> 21-3083へ

税を知る週間 11月11日~17日

「この社会あなたの税が生きている」をメインテーマに税の週間がはじまります。

この機会にみんなで「税」を考えてみましょう。

◆無料税務相談

◆地酒と税の書道展

とき 11月11日~17日

(税務相談のみ12:00~17:00)

ところ 富士駅前パピール1階



「年末調整」と「青色決算」の説明会

◎年末調整関係

| 月日 | 時間 | 午前(10:00~12:00) | 午後(13:30~15:30) |
|-----------|----|-----------------|-----------------|
| 11月17日(水) | | 富士文化センター | 富士文化センター |
| 11月18日(木) | | " | " |
| 11月24日(水) | | 吉原市民会館 | 吉原市民会館 |
| 11月25日(木) | | " | " |
| 11月26日(金) | | 鷹岡公民館 | |

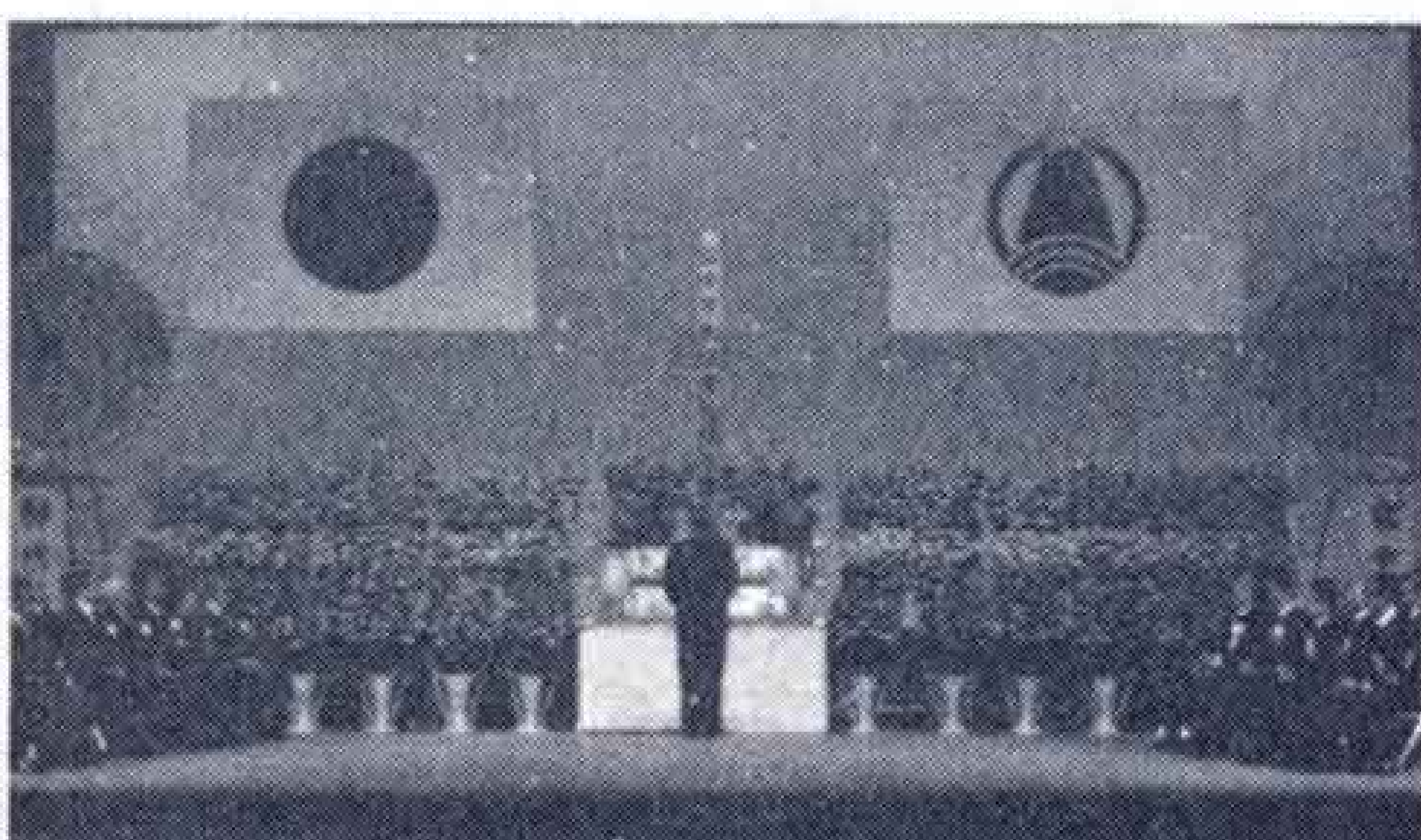
※受付時間 午前(9:00~10:00)午後(12:30~13:30)

◎青色申告決算関係

| 月日 | 時間 | 午前(10:00~12:00) | 午後(13:30~15:30) |
|----------|----|-----------------|-----------------|
| 12月1日(水) | | 吉原市民会館 | 吉原市民会館 |
| 12月3日(金) | | | 鷹岡公民館 |
| 12月6日(月) | | 富士文化センター | 富士文化センター |

※受付開始 午前9:00~・午後12:30~

富士市戦没者追悼式



昨年の追悼式

とき 11月18日(木) 10:00

ところ 吉原市民会館大ホール

遺族世帯数 2,424世帯 柱数 2,715柱



しづめぐり

公共の宿

富士ハイツ



TEL 35-2311



総合運動公園の一番東側、木々に囲まれた静かなところに富士ハイツがあります。

これは勤労者のための総合福祉センターとして、国と県、市が共同出資して建設し、昭和51年4月にオープンしました。

中には、結婚式場、会議室、客室、レストラン、茶室、プールがあり宿泊もできます。

職場の慰安旅行、同窓会、結婚式、

研修会などに幅広く利用され、最近では富士五湖めぐりの基地としても人気があります。

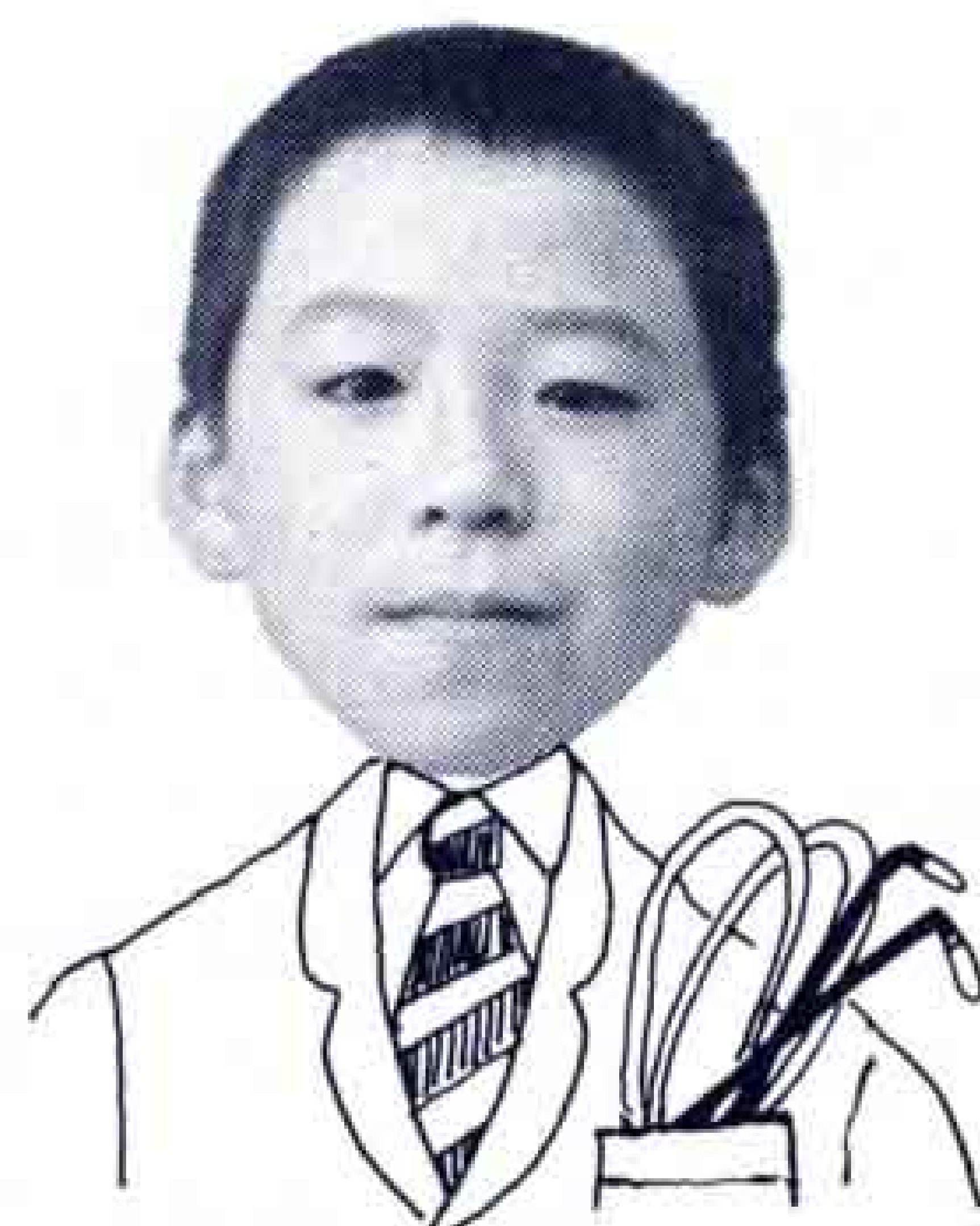
特に県外からは、窓越しに見える富士山には感銘を受けるようです。

また、富士の夜景もなかなか素晴らしいものです。

利用料金は、宿泊・結婚式なども概ね、市価の7割ぐらいで利用できます。申込みは直接富士ハイツにしてください。

ぼくの夢 わたしの夢

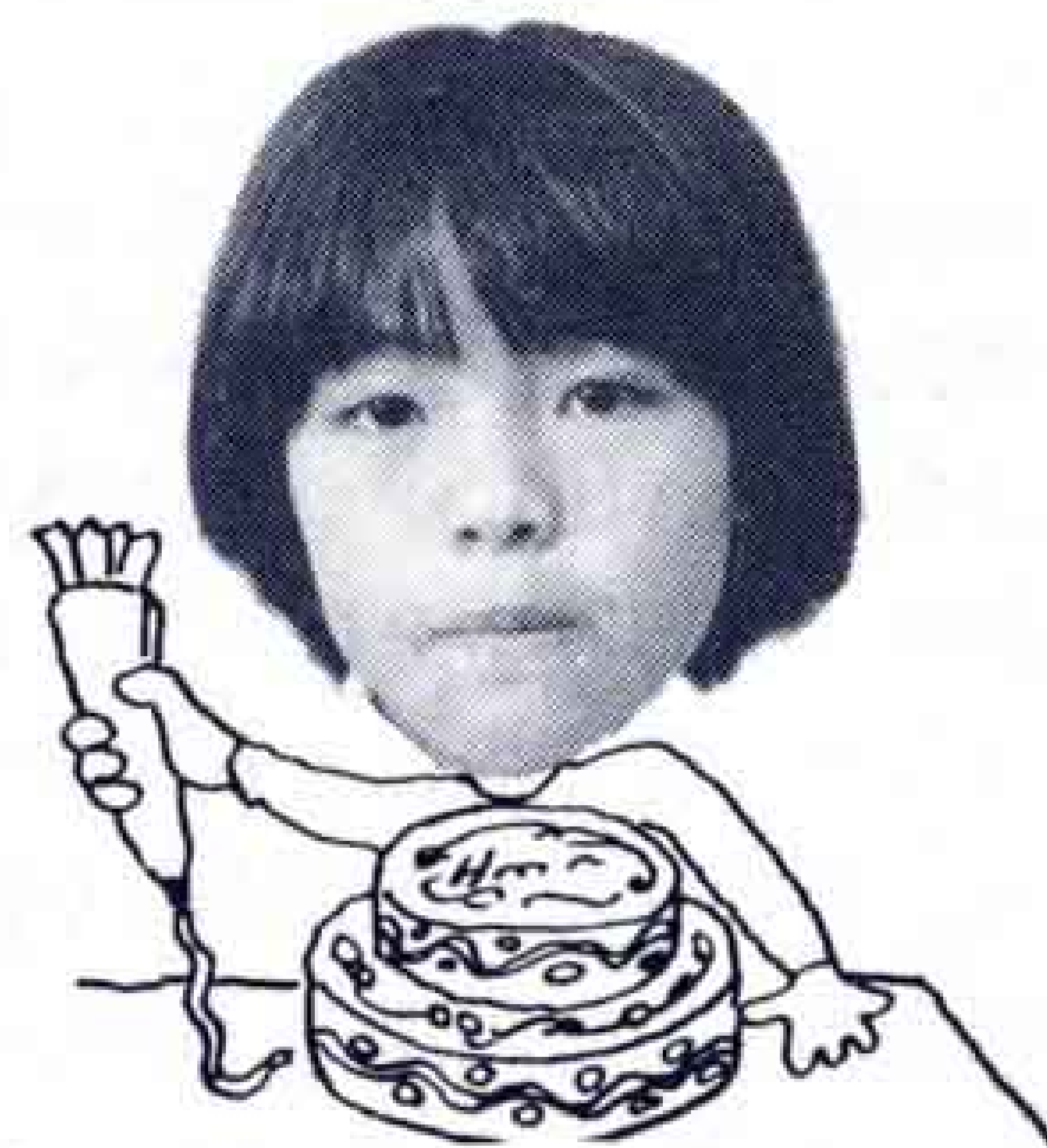
お医者さんになりたいな



富士南小六年
森下和美君

ぼくは、一生懸命勉強して、りっぱなお医者さんになりたいです。なぜかと言うと、今どこの病院に行っても、病気にかかっている人がたくさんいます。待合室は、通院かん者でいっぱいです。だから、その人達の病気やケガをみんな直してあげたいです。そして富士市は、日本で一番病気にかかっている人が少ない街にしたいと思います。

ケーキ屋さんになって



富士南小六年
望月早苗代さん

私は、ケーキ屋さんになって、どこのお店にも負けないくらいのおいしいケーキを作りたい。そして、世界中の困っている人たちにおなかいっぱい食べさせてあげたいなあ。

甘くて、栄養たっぷり、いつでもホカホカの作りたて。家や車や動物など注文通りの形を作る。

私の住む家はもちろん夢がいっぱいつまったケーキの家。

ごみのあはなし



いま、小学校教育の場では私たちの時代には想像もできなかった「ごみ教育」が行われています。富士市でも今年の3月に、小学校4年生を対象とした「ごみとわたしたち」というパンフレットをつくり、各学校へわけました。これは、社会科副読本として使われますが、やがて、子供たちが社会人になったとき、ごみ問題について、現在の私たちより、もっと理解と認識をもってほしいという期待と、各家庭でも、正しいごみ処理について考えていただくために作られたものです。

—おすすめよう ごみの減量・資源化—